

令和4年度 前期 学校評価まとめ

項目	●色 教師アンケート項目 ●色 生徒アンケート項目 ●色 保護者アンケート項目		■ そう思う ■ ややそう思う ■ ややそう思わない ■ そう思わない			肯定 否定 割合		総合評価	R03 前 R03 後	
	番号	具体的な評価内容	自己評価割合 (%)			肯定 %	否定 %			
I 教育目標について	①	学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。	63	37	0	100	0	A	A 100/0 A 100/0	
	②	若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりこんでいる。	37	63	0	100	0	B	A 97/3 A 100/0	
	③	目指す生徒像	「自ら学び、深く考える児童生徒」を育成している。	52	45	3	97	3	A	B 100/0 B 100/0
			「心豊かで、思いやりのある児童生徒」を育成している。	56	44	0	100	0	A	B 100/0 A 100/0
			「健康で、たくましい児童生徒」を育成している。	42	58	0	100	0	B	A 100/0 B 100/0
			「意欲を持ち、最後までやり抜く児童生徒」を育成している。	46	54	0	100	0	B	B 100/0 A 97/3
	考察	新たに小中一貫校校として設定された学校経営方針に基づき、教育課程全体において先生方が熱心に取り組んでいる。先生方が、授業のチャイム前には教室で待機、「若草中学びの作法」をはじめ、「学びの共同体」「山梨スタンダード」「ICT活用」など、学力向上に向けた取組も熱心に行われている。生徒理解はもちろん、生徒の自主自立を重んじた育成が行われており、「若中スタンダード」、「SDGs活動」、「若草みまもり隊」、「ラジオ体操」など地域につながる活動を通して、「信頼される学校」を目指して全職員で取り組んでいる。								
改善	小中一貫校の視点を持ち、人事評価や一人一実践、一校一実践における改善点により各自の教師としての質を高める。また、学校行事や特別活動におけるPDCAサイクルを意識した取組を行う。学校評価の各アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の改善に役立てる。									
学校関係者評価委員会意見	この項目については、小中一貫校として取り組んでいく上で、質問項目を重点化し1、2個に精選した方が良いのではないかと。地域と連携した各種の取組に、生徒も教師もよくやっている。やるが多くなりすぎないように重点化もしくは優先順位も必要と思う。教職員が学校経営方針に基づき、コロナ禍ではあっても教育活動が行なえていることがよく分かる。先生方の頑張っている姿がよく分かる。									
II 校務分掌について	①	職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。	63	34	3	97	3	A	A 97/3 A 100/0	
	②	自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。	61	33	6	94	6	A	A 92/8 A 100/0	
	③	分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。	62	35	3	97	3	A	A 100/0 A 100/0	
	④	管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。	73	27	0	100	0	A	A 100/0 A 95/5	
	⑤	職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。	66	34	0	100	0	A	A 100/0 A 97/3	
	考察	総合評価はおおむね良好である。昨年後期④⑤に多少の否定数による安全管理や会議における積極性が課題であったが、大きく改善されている。①②③の否定数については、昨年度からの引継ぎの際に曖昧な部分があったため、自分の分掌に対する不安感の表れだと思われる。								
	改善	・管理職、主幹、生徒指導主事、学年主任間の情報交換のさらなる意識化をする。(運営委員会) ・不安感がなくなるよう、一人だけに分掌を任せるのではなく、職員同士のコミュニケーションや持続可能な取組のために、さらなる充実を各職員が意識する。(教師の意識化)								
学校関係者評価委員会意見	公務分掌は昨年度からの引継ぎ等複数人で分担し、スムーズに連絡・協調出来ると良いと思われる。職員会議や校内研の決定事項を全員が実践しているのは素晴らしい。総合評価がおおむね良好であり、先生方の仕事への意識が高まっていることがうかがえる。コロナ禍で大変と思うが、先生同士のコミュニケーションのさらなる充実を意識してもらい、さらに良い学校を目指してほしい。									
III 学習指導・進路指導について	①	基礎・基本の定着を図る授業を行っている。				100	0	A	A 97/3 A 100/0	
	生11	先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。	67	33	0	97	3	A	A 96/4 A 96/4	
	保11	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。	43	48	6	90	10	B	B 89/11 B 89/11	
	②	生徒の思考力・判断力・表現力、学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。	48	52	0	100	0	B	B 100/0 A 97/3	
	生13	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。	70	26	3	96	4	A	A 96/4 A 96/4	
	保13	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。	38	50	9	88	12	B	B 87/13 B 87/13	
	③	研究主題を意識した「学び合い」のある授業を実践している。	36	61	3	97	3	B	B 94/6 B 92/8	
	生12	先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。	64	32	4	96	4	A	A 96/4 A 95/5	
	保12	先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。	39	51	7	91	9	B	B 89/11 B 90/10	
	④	少人数グループや習熟度別授業の実施、また、発展的な内容を取り入れるなど、個に応じた指導を行っている。	30	61	9	91	9	B	B 97/3 B 92/8	
	生13	先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。	70	26	3	96	4	A	A 96/4 A 96/4	
	保13	先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。	38	50	9	88	12	B	B 87/13 B 87/13	
	⑤	指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。	47	53	0	100	0	B	B 100/0 B 100/0	
	生14	先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。	60	33	6	93	7	A	A 94/6 A 93/7	
保14	先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。	39	50	7	89	11	B	B 92/8 B 93/7		
⑥	生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。	52	48	0	100	0	A	B 91/9 B 95/5		

いて	考察	先生方は①の基礎・基本の定着、②の表現力・学習意欲（家庭学習）⑤指導と評価、⑥進路指導まで含めた学力向上に良く努めている。先生方の③④は本年度もコロナウイルス感染症防止のため、積極的にグループ学習に取り組みない現状がある。上記項目について、生徒はすべて93%以上、保護者評価が88%以上を占めし、十分に達していると考えられる。しかし、100%を目指し、努力を怠らないことが大切である。保護者については、授業参観や学校開放ができなかったため授業の様子等については15～20%近くが分からないと回答していた。								
	改善	・テスト前の学習会の充実と補習授業等の計画（各学年）放課後学習会の定期的な開催を続けていく。 ・生11～14について、生徒から高い評価が付いた。今後も生徒との人間関係も深めつつ、より生徒の意欲が高まる授業の工夫・改善に努めていくことが大切である。（校内研究の充実） ・先生方がすべての項目においてA評価となるよう、校内研究や情報交換の充実を図ることが大切。（校内研究の充実） ・保11～14については、高評価ではあるがB評価となった。今後は学校開放日などコロナ対策を取りながら行い、授業の様子等を保護者が見る機会を増やしていく必要がある。「説明責任の果たせる」取組が大切である。 ・キャリア教育を充実するための工夫。								
	学校関係者評価委員会意見	コロナ禍の中で授業の質を高めようと努力している姿は素晴らしい。生徒も応えていると思う。生徒自身が学習や進路に対する意欲が見られるため、先生方には生徒の力になってもらって全ての生徒がよい進路に進めるよう手助けをこれからもお願いしたい。若手とベテランの教職員がコミュニケーションをしっかりと取り合い、お互いの授業を観察する時間も作りながら授業力の向上をしていると聞き、教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めていることが分かった。								
IV 生徒指導・道徳指導について	①	生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。	62	38	0	100	0	A	A 100/0 A 100/0	
	生15	先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。	63	30	51	93	7	A	A 92/8 A 91/9	
	保15	先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれていると思いますか。	37	51	84	89	11	B	B 91/9 B 87/13	
	生16	心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	48	32	13	7	80	20	C	A 82/18 A 84/16
	保16	お子さんは、心配ごとや相談ごと、または日常生活の中で、話ができる先生がいますか。	35	40	17	9	74	26	C	C 77/23 C 77/23
	②	基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。	65	35	0	100	0	A	A 100/0 A 100/0	
	生8	あなたは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	52	35	10	3	87	13	A	B 82/18 A 85/15
	保8	お子さんは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。	46	37	10	7	83	17	B	B 80/20 B 80/20
	③	一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。	59	41	0	100	0	A	A 100/0 A 100/0	
	④	生徒支援委員会（生徒指導部会、ケース会議含む）は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。	67	33	0	100	0	A	A 97/3 A 100/0	
	⑤	道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳の実践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。	55	45	0	100	0	A	B 97/3 B 95/5	
	生17	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	66	29	41	95	5	A	A 96/4 A 100/0	
	保17	学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。	41	52	52	93	7	B	B 92/8 B 92/8	
	⑥	不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。	71	29	0	100	0	A	A 100/0 A 100/0	
考察	生徒一人ひとりが安心して、学校生活を送れるよう先生方が努力している姿勢がうかがえる。生徒15の「先生方が相談に乗ってくれる」は、高評価のAであるが、生徒16の「日常生活の中で話ができる先生がいる」がC評価である。学年が上がるごとに高評価になっている。生徒との日常的な関係がさらに良好にし、今後も生徒に寄り添う指導の継続が大切である。不登校やいじめは学校が解決しなくてはならない喫緊の課題である。不登校については、特に中1ギャップが多いといわれおり、小中連携がとて大切である。また、外部機関（SC、SSW、支援学校等）との連携も大切である。「いじめは絶対にゆるさない」という強い姿勢を先生方は持っており、道徳指導はもちろん、アンテナを高くし、教職員の情報収集と情報交換も頻繁に行われ早期発見・早期対応に努めている。									
改善	・今後もひとり一人の生徒を大切にしたい対応を続けていく。（生徒理解と生徒情報交換の大切さを全職員が意識化） ・チームとして対応が必要な場合の組織を強固にする。（学年主任、生徒指導主事、養護教諭、SC、SSW等関係職員） ・いじめはどこでも誰にでもおこりえるというスタンスを常に持ち、早期発見・早期対応に努める。（教師の意識化） ・新たな不登校を生まないための取組を、今後も継続していく。（生徒理解・小中連携・生徒支援委員会等）									
学校関係者評価委員会意見	①に見られるように教師は良くやっていると思う。不登校の原因は様々であり、様々な外部機関と積極的に関わりながら手厚く取り組んでほしい。今後は進路関係で生徒の悩みが増えていくと思うので、相談に乗ってもらったり、二者面談を増やしたりして、生徒の不安感を減らしていける努力ができればと思う。生徒・保護者の8の質問についてはもういらないのではないかとと思う。									
V 特別活動について	①	生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。	52	48	0	100	0	A	B 100/0 A 100/0	
	②	さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。	52	45	3	97	3	A	A 100/0 A 97/3	
	生18	学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。	65	31	31	96	4	A	A 96/4 A 95/5	
	保18	子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。	36	44	14	7	80	20	C	B 82/18 B 80/20
	③	朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。	63	38	0	100	0	A	A 97/3 A 92/8	
	④	充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。	55	45	0	100	0	A	A 100/0 A 95/5	
	考察	コロナウイルス感染症防止のため、行事がカットや縮小されるなか、生徒評価が高評価となっている。先生方が生徒に満足感や達成感を味わってもらえるよう、行事の工夫や愛情を持って生徒に寄り添っていることがわかる。保護者に関しては、参加を制限したり、中止になった行事もあり評価が低かった。朝読書は今年で8年目となる活動である。一日の始まりが静かで落ち着いた雰囲気からスタートすることは、授業への集中力の高まりや穏やかな生活につながっていると思われる。								
	改善	・各行事の目的や意義、取組方を全職員で共通で確認をする。（各行事ごとにPDCAサイクルにて検証と改善を含む） ・学校での活動の様子が保護者に伝わるよう各種たより、HPの充実に取り組み。（各担当者） ・朝読書の時間を生徒も教師も全員が本を読む時間にする。（職員の意識化） ・委員会や生徒会活動においても、今できることを大切に持続可能な取組を強化していく。								
学校関係者評価委員会意見	コロナの影響下での3年目となり、特に現中学3年の生徒は行事等カットや縮小となることが多く、保護者も学校生活を見る機会がほとんどなくなった。残りわずかですが卒業となるので、可能な行事等は積極的に行って沢山の思い出が作れるような活動ができればと思う。コロナ禍で、学校は難しい判断をせまられていると思う。しかし、「生徒に充実感を味わわせたい」との思いから、様々な工夫している様子が見受けられ、学校の取組、生徒の活動を応援していきたい。									

VI 家庭・地域との連携について	①	地域や保護者からの情報や要望を真摯に受けとめ、日々の教育活動に反映できるように努めている。	52	48	0	100	0	A	A 97/3 A 95/5	
	②	さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。	39	45	15	85	15	B	B 92/8 B 89/11	
	③	学校・学年・学級により等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。	53	38	9	91	9	A	B 92/8 B 92/8	
	生19	学校は、いろんなたよりのホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。	50	39	8	89	11	A	B 90/10 A 90/10	
	保19	学校は、各種たよりのホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。	35	49	11	84	16	B	B 84/16 B 87/13	
	考察	各学年ともに保護者との連携を大切に、生徒の良き成長を願っている。保護者等からのアドバイスにはよく耳を傾け対応を行っている。たよりについて各クラス、各学年、各担当で、それぞれの思いや願いを込めて適切な時期にたよりを発行している。多くの情報が、適切な形で保護者に伝わることは、お互いの信頼関係を高めるうえで効果的に働き、開かれた学校づくりに大きく役立っている。								
	改善	<ul style="list-style-type: none"> 各種たよりの継続的発行と内容の工夫改善を行う。(各発行者) ホームページ等さらなる更新を行う。(情報管理主任が声掛けをし、担当が積極的に更新していく) 								
学校関係者評価委員会意見	積極的にホームページを見てもらえるようにもっとアピールしていく必要がある。多くの情報が家庭に伝わる工夫が見られ、とても良いと思う。保護者との連携を今後も大切にしてい、先生方ともより良い関係を築き、さらに生徒が生活しやすい良い学校づくりができればと思う。									
VII 自身と職場について	①	学校へ来ることが楽しかった。	40	51	9	91	9	B	B 92/8 B 87/14	
	生1	あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。	56	36	7	91	9	A	A 88/12 A 91/9	
	保1	お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。	59	31	6	90	10	A	A 93/7 A 90/10	
	②	授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。	69	29	3	97	3	A	A 100/0 A 92/8	
	③	子供たちに信頼される教師であった。	26	68	6	94	6	B	B 92/8 B 97/3	
	④	教師としての力量を高めることができた。	26	71	3	97	3	B	B 95/5 B 100/0	
	⑤	教師集団として、一つにまとまることができた。	38	53	9	91	9	B	B 95/5 B 90/10	
考察	職員室では、生徒の頑張りや心配になる点など、学年を越えて話が行われ、常に生徒のより良き成長を願っている姿勢がある。生1の「あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。」がA評価ではあるが、10%ほどの生徒が否定意見を出している。今後も一人も取り残すことなく、生徒理解に努めることが大切である。									
改善	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の育成、理解のためには学年を越えた情報交換を今後も行う。(生徒指導・学年主任・教師の意識化) 教師としての力量を高めるため、専門性や総合的なコミュニケーション能力を高める努力を続ける。(教師の意識化・管理職・主幹・学年主任・ミドルリーダー) 									
学校関係者評価委員会意見	コロナ禍の中で大変だが、工夫してよく頑張っていると思う。保護者として学校評価をこんなに細かく分析しているとは気づかなかった。しかし、逆に学校評価全般に対して質問項目が多いように感じるので、アンケート内容の精選してはどうか。									
施設設備について	①	学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている	9	49	43	0	57	43	C	C 50/50 C 66/35
	生20	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	48	40	10	87	13	B	A 86/14 A 83/17	
	保20	学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。	29	46	16	75	25	C	C 79/21 B 80/20	
	考察	北館への網戸の設置・体育館の雨漏り修理等夏休み中に行われ、駐輪場やテニスコート、部室棟の改築工事が行われているところである。生活に必要なトイレ、水飲み場が少ない、また学校の老朽化は非常に大きな問題であるが、その解消のためには莫大な予算が必要である。要求は今後も行うが現時点では限られたスペースや施設・設備に手を入れながら、改善改良や対応を探るのが方策と言える。 一方生徒の施設・設備への満足度が高いことは、生徒にとってICTの活用等の教育活動に対する満足度や、教室環境の整理整頓もその一因だと考えられる。								
	改善	<ul style="list-style-type: none"> 今後も各学年を中心に教室環境、フロア環境を整える。 必要なものを年次計画で継続して請求していく。(施設・設備については教頭、各種備品については教科主任、その他必要な物品については各担当が責任を持って請求する) 								
学校関係者評価委員会意見	地域の人や保護者と連携を取りながら、生徒や先生が過ごしやすい環境づくりが出来たらよいと思う。今できる環境整備を行い、少しずつ改善できたらよいと思う。施設・設備は多少悪くても、生徒が生き生きと学校生活を送れるよう、中味が勝負する若草中学校であり続けてほしい。									